

(毎月1日発行、創刊号平成23年4月11日)



復興ニュース

166号
2018年
2月1日

東海新報元旦号へ記事掲載 「夢ネット大船渡の軌跡」



地元新聞東海新報の元旦号へ、「夢ネット大船渡の軌跡」として、平成18年の発足から現在までの活動状況を記載して頂きました。

震災前は気仙地方(大船渡市・陸前高田市・住田町)の中間支援組織として、市民活動フォーラムを開催し、NPO団体の発表と交流の場を第7回まで開催しました。

また、活動分野別講演会開催や情報誌「みらい」の発行、2市1町のNPO団体の話し合いから行政への提言も行って参りました。

そして震災後については多く

の方が周知のとおり、気仙市民復興連絡会を結成し、現在のNPO団体の復興活動の先陣を務めて参りました。特に仮設住宅のパトロールや手芸講習の開催、復興ニュース発行など、被災者がまだまだ将来への不安なことから、被災者へ寄りそう活動を行って来ました。

最後には平成29年度を持ってNPO法人を解散し、今後は任意団体として地域課題解決へ少しでも貢献する組織として活動を継続することにしています。



東海新報社から元旦号の一部250部を購入し、これまで支援頂きました気仙地方以外の多くの団体や個人の方へ発送しました。

特に元旦号には大船渡市中心地が写真入りで「新春、第3のまちびらきへ」との記事もあり、大船渡市の復興がどう進んでいるのか心配している方の参考になると思います。

あと約10部ほど残部がありますので、希望の方は夢ネット大船渡へご連絡ください。無料で送付いたします。

受け取った方から「東海新報を手に取り、とてもうれしく思います」等々の温かいお礼の手紙を受け取りました。

無料法律相談 お気軽にご連絡ください

認定NPO法人ヒューマンライツ・ナウ(東京に事務所)主催、夢ネット大船渡協力で平成23年10月から実施し、前回で89回延べ385件の相談に対応しました。

どんなことでも相談に応じます。お気軽にご連絡ください。秘密厳守

- ◆ 日時 平成30年2月10日(土) 10:00~13:20 一人40分間
- ◆ 場所 夢ネット大船渡事務所 盛町字内ノ目14-15 大和商事盛給油所ウラ
事前申込必要 連絡先 47-3271(夢ネット大船渡) 携帯 090-2278-9703(岩城)

BDF エコクッキング開催

長洞仮設 大船渡市猪川町



1月19日猪川町の長洞仮設住宅集会所でエコクッキングを行いました。エコクッキングは環境パートナーシップいわてが主催し、夢ネット大船渡が協力で行っています。

今回も夢ネット大船渡理事の新沼孝子が担当し、入居者8名の参加者と支援員3名の協力で実施しました。

完成後テーブルに着席し、これは〇〇さんが作ったものなど話し合いながら、作ったドーナツを食べ懇談しました。

作業に入る前に新沼孝子から次のような説明がありました。

家庭で使った天ぷら油をペットボトルに溜めて、市役所の回収箱へ持参し、それを精製所でBDF(バイオディーゼル燃料)へ加工して、自動車や農機具等へ利用する。このリサイクルで地球環境をよくすることにご協力をお願いしたい。今日のエコクッキングはその目的を理解して頂きたい願いで開催しています。

岩城理事長はドーナツ完成しテーブルに着いた時に訪問し、参加者と一緒にドーナツを食べながら、天ぷら油回収や日頃の仮設住宅での生活のことなど懇談しました。

エコクッキングの開催場所を探しています。希望の公民館等夢ネット大船渡へご連絡ください。

桂枝太郎師匠を迎えて

落語 「日頃市寄席(ひごろよいよせ)」 入場無料

3月18日(日)午後1時00分開場 日頃市地区公民館



先に日頃市中学校生徒会から、被災者支援活動を行っています夢ネット大船渡へ、東京のチャリティーマラソンへ参加し、集めた寄付金の一部を当法人へ贈られたことから、その用途を検討した結果、被災者支援に何度も落語のボランティア公演を行って頂きました、桂枝太郎師匠を迎えての寄席開催。そして被災者の後方支援活動を行った日頃市町民へご案内して開催することにいたしました。

← ※写真:陸前高田市竹駒町 滝の里仮設住宅集会所での公演
平成28年1月28日

公演名称は「日頃市寄席(ひごろよいよせ)」とし、入場無料として右記のとおり開催いたします。多くの方々のご来場を心からご案内いたします。

桂枝太郎師匠紹介

岩手県奥州市衣川(旧衣川村)出身

平成8年6月 桂歌丸に入門

8年9月 前座になる 名は歌市

12年6月 二つ目昇進 花丸に改名

21年5月 真打昇進 名改名を桂枝太郎

「笑点」アシスタント(日本テレビ)

出演(主な) 笑っていいとも(フジテレビ)他
古典落語のほか自ら創作する新作落語にも意欲的に取り組む

気仙の主なボランティア公演先 地の森、大立、宮田、甫嶺、崎浜、
轆轤石、長洞、後の入、滝の里、
住田町中上(各仮設住宅)他

日頃市寄席 ご案内

- ★ 日時 平成30年3月18日(日)
- ★ 場所 日頃市地区公民館
- 開場 午後1時00分
- 開演 午後1時30分
- ★ 内容
前座 13:30~ マジックショー
マチア・マジック・クラブ 大船渡
- 落語 14:30~ 桂枝太郎師匠
- 終了 16:00
- ★ 主催 NPO 法人夢ネット大船渡
TEL 47-3271
- ★ 後援 日頃市地区公民館
大船渡市教育委員会
日頃市中学校PTA(予定)
東海新報社

盛町内初詣ウォーク

ふれあいウォーキングの会 1月例会報告



蔵ハウスみずき団子の木で記念写真

1月20日(毎月第3土曜日が例会)に初詣ウォークとして盛町内の神社等を回りました。当日の参加者は11名盛駅で新年の挨拶を交わし、準備体操後9時10分に出発しました。

最初に明治33年に大船渡市を訪れ宿泊した今野屋旅館があった場所、その向かいの蔵ハウス敷地内お地蔵様(大阪元気人間製造研究所が百年の里へ贈ったもの)と澤木興道最終行脚之地碑(曹洞宗全国に広めた僧侶)を参拝し、権現堂を廻って吉野森公園へ、吉野森神社には奥州しだれ桜や相撲の土俵があります。小

休憩後天神山を目指して出発しました。

天神山公園では、最初に石川啄木の歌碑「愁い来て丘にのぼれば名も知らぬ鳥啄めり赤き茨の實」、天照御祖神社を参拝して芭蕉句碑「はるもややけしきととのふ月と梅」を廻る。樹木が太くなると感心しながら下りました。

次には今度初めての愛宕様王子陵を目指して浄願寺脇から右に折れ坂道を上ると間もなく愛宕



啄木の歌碑

神社はあったが、王子陵なるものは見当たらない。参加者の中に地元の方がおり、さらに上って探して頂いた結果、林の中に王子陵碑を見つけることが出来ました。

王子陵について大船渡市史第3巻に「王子陵が秘める謎」との見出しで記載があります。そこには第30代敏建天皇(572~585年)の第1皇子が陸奥の国へ永住するように配された。その第1皇子の祀った墓ではないか?

その第1皇子に付いて来たといわれる浦貞のご先祖など、あまりにも昔

のことで(現在の天皇は第125代)あり、この事実を証明することが出来ないため謎となっているようです。

王子陵に現在訪れる人も無く淋しく林の中に建っている姿を後にし洞雲寺へ向かった。大分時間も経過したことから洞雲寺は訪問せずに観世音菩薩像に寄った。この観音様は東日本大震災の犠牲者の霊を祭ったものであり見事な姿でした。最後に貴船神社を廻って盛駅に到着し今日の駅からウォークを終了しました。天気も上々で快く体も温かくなり、王子陵の謎も知り満足した一日でした。



王子陵



観世音菩薩像

◆ 2月の「駅からウォーク」へ参加しませんか

日頃市町の長安寺と早咲き福寿草見物

2月ウォークは、2月17日(土)午前9時00分盛駅集合し、日頃市町の長安寺へ行きます。長安寺ではお寺様から説明を頂きます。そして境内に咲く福寿草を見物する往復約7kmのウォークです。希望者は参加費一人100円です。当日午前9時までに盛駅へおいで下さい。

◆ 三鉄沿線の魅力を発信し交流人口を増やせないか

東北経済産業局から調査に訪問

1月23日午後、経済産業省東北経済産業局地域経済部(東日本大震災復興推進室)の方2名と事業委託を受けているPeemの1名の計3名の方が夢ネット大船渡を訪問されました。

訪問目的は、震災からの早期復興に向けた三陸地域ブランド発信等関連調査の結果報告と改めての再調査でした。

夢ネット大船渡が平成23年から実施しています「駅からウォーク」、三陸鉄道を利用して沿線の名勝や史跡再発見イベントを全国発信し、交流人口を増やすことが出来ないか等の調査と相談でした。

私たちも駅からウォークを毎月実施の際、遠方から参加する人を増やせないものかと悩んでいました。何とかよい方法が作られることを期待します。

マジックを披露 盛小学童さくらりっこを訪問

アマチュア・マジシャンズ・クラブ大船渡(AMC 大船渡)は、1月5日盛町の学童保育「さくらりっこ」を会員5名が訪問し、順番に得意のマジックを披露しました。

AMC大船渡は、いきいき岩手支援財団のご近所支え合い活動助成金を受け、毎月の講習会開催で学んだマジックを



社会貢献活動(仮設住宅や公営住宅、福祉施設や学童保育所等)に生かすことに誇りを待って活動しています。

平成29年度も多くの場所で披露を行い喜んで頂きました。さらに会員個人的にも幼児施設や公民館等で披露しています。

マジックには奥が深く色々な種類があり、一度教えて頂いても復習や披露の機会がないと忘れてしまいます。

ボランティアで披露しますのでご連絡下さい。

連絡先 090-2278-9703(岩城)



訪問した会員5名

気仙2市1町へ協力お願い

広域連携によるスポーツを通じた復興推進へ

※岩手日報と東海新報が報道しました



三陸気仙広域連携スポーツ特区推進準備協議会(岡田康義代表)は、気仙に全国大会(世界大会も)を開催出来る施設や運営(イベント)を、気仙2市1町が連携して行うことにより、観光・産業・食文化へ波及する被災後の復興対策として協力し合うことを求めて2市1町を訪問しました。

1月17日午前は大船渡市を訪問、担当の教育委員会と企画担当者との意見交換を行いました。

午後は住田町長と教育長。18日午前には陸前高田市長とお会いし、これまでの取り組み報告と今後の協力をお願いいたしました。



大船渡市野々田 7.5 ㍓の防潮堤

「いわて三陸復興フォーラム～沿岸報告会～」へ参加

1月26日厳寒の中、岩手県沿岸広域振興局主催震災地、大船渡市と陸前高田市を巡る上記報告会へ岩城理事長が参加して来ました。

最初に大船渡市の中心地野々田防潮堤と須崎川改修現場でした。野々田防潮堤は上部7.5㍓ですが下部は岩盤まで達する13~37㍓まで杭を打っていることや、須崎川の大船渡市の土地計画工事との調整など苦労があったことなど。

場所をキャッセン大船渡コミュニティスペースへ移って、新おおふなと街づくり会社の取組について聞きました。

地元商業者の多くの入店に加えて新たに開店した業者もあるなど、魅力ある商業経営に努めている等力強い説明を聞き、今後の大船渡市の発展に期待をしました。

栃ヶ沢アパート 正面が自治会役員



昼食後陸前高田市グローバルキャンパス(旧高田東中学校校舎)へ移動し、SAVETAKATA代表から「復興の先を見え据えた取組」として、多方面の取組内容を説明して頂きました。震災後の人口減少と高齢化の中での被災地復興へ考えさせられること多くありました。最後に高田町の栃ヶ沢アパートを訪問し、自治会役員との懇談会でした。孤独死を出さない日本一の公営住宅へ、と言う紺野会長さんのご活躍に頭が下がりました。

須崎川の改修工事の説明を聞く

